

島根就職希望者に奨学金

TSKグループと島根電工

県立大と連携、地元定着促進

島根県立大の学生の地元定着を促進するため、山陰

中央テレビジョン放送(松江市向島町)などTSKグループ5社と島根電工(同市東本町5丁目)が同大と連携し、県内就職希望者を対象とした奨学金制度を新たに設ける。2022年度は18人を選抜する計画で、賛同する企業を増やし、取



協定書を交わし、記念撮影する関係者―松江市東本町5丁目、島根電工

り組みの輪を広げる考え。

6社と同大が30日、連携協定を結んだ。22年度の対象は3、4年8人ずつ(キャンパスごとの内訳は浜田4人、出雲2人、松江2人)と、短期大学部2人の計18人を想定し、1人当たり年間25万円を支給する。総額450万円は協定を締結した6社からの寄付金を充てるが、就職先は6社に限定しない。

奨学金の返済有無や県内就職しなかった場合の対応など制度概要は今後詰める。21年度後半から申請を受け付け、志望動機や成績など学内選考に加え、企業も審査に加わる。

調印式に出席した山陰中央テレビの田部長右衛門社長は「県内就職率を上げるためには企業側の努力も非常に重要。新たな枠組みの

輪を広げていきたい」と、地元企業に協力を呼び掛ける考えを示した。島根電工の荒木恭司社長は「県内には人を幸せにする会社があ

くさんある。大学と一緒に島根をもっと元気にしていきたい」と述べた。

県立大は19年度卒業生(短大含む)の県内就職率が36・8%で、24年度に50%超に引き上げる目標を掲げている。清原正義学長は「全国でも県内就職支援の奨学金制度は聞いたことがない。画期的な一歩を踏み出すことができた」と目標達成への決意を込めた。

(久保田康之)